

令和3年11月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和3年11月(速速報値)	67,991	90,854	44,354	5,789	17,218	25,713	10,709	46,269	3,244	312,141
令和2年11月(速報値)	54,065	115,941	55,215	6,523	20,215	37,681	15,132	53,692	4,557	363,021
前年同月比	125.8	78.4	80.3	88.7	85.2	68.2	70.8	86.2	71.2	86.0
2019年11月(確報値)	56,998	96,661	67,832	11,552	28,775	31,340	18,164	55,361	7,918	374,601
2019年同月比	119.3	94.0	65.4	50.1	59.8	82.0	59.0	83.6	41.0	83.3
2018年11月(確報値)	59,809	86,285	60,280	10,343	23,550	26,555	14,299	52,194	6,022	339,337
2018年同月比	113.7	105.3	73.6	56.0	73.1	96.8	74.9	88.6	53.9	92.0
令和3年10月(速速報値)	50,796	85,685	37,181	4,393	13,479	19,375	7,540	37,409	3,999	259,857
前月比	133.9	106.0	119.3	131.8	127.7	132.7	142.0	123.7	81.1	120.1

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年11月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	607
令和2年11月(速報値)	7	13	2	1	22	326	119	490
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	123.9
2019年11月(確報値)	7,014	7,242	7,925	11,947	2,509	3,528	3,694	43,859
2019年同月比	*	*	*	*	*	*	*	1.4
2018年11月(確報値)	45,072	5,968	6,363	11,109	1,601	3,026	3,099	76,238
2018年同月比	*	*	*	*	*	*	*	0.8
令和3年10月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,362
前月比	*	*	*	*	*	*	*	44.6

* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和3年11月(速速報値)	312,748
令和2年11月(速報値)	363,511
前年同月比	86.0
2019年11月(確報値)	418,460
2019年同月比	74.7
2018年11月(確報値)	415,575
2018年同月比	75.3
令和3年10月(速速報値)	261,219
前月比	119.7

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

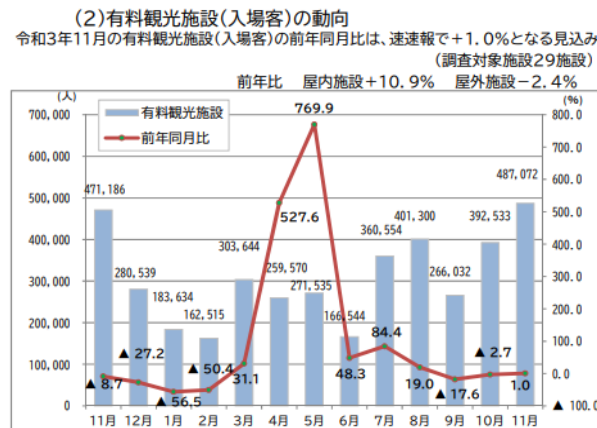
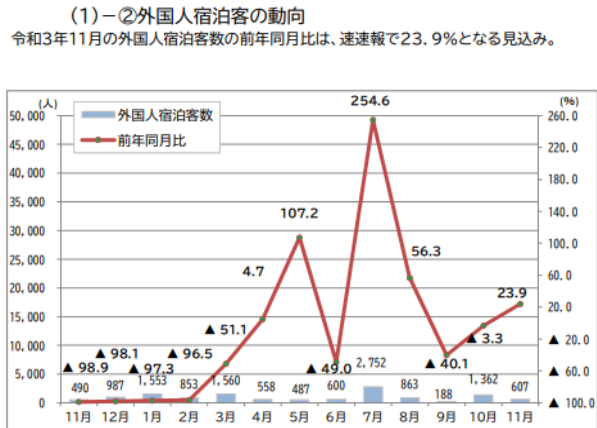
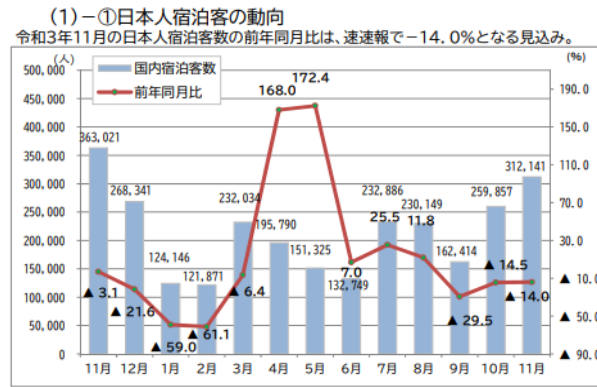
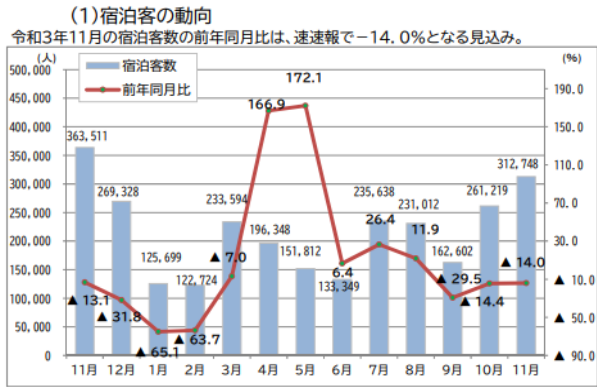
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比86.0%。全体としては、GOTOトラベルキャンペーンの実施等の影響で宿泊者数がコロナ禍前の2019年・2018年の水準まで戻った昨年同月には若干及ばないものの、県内宿泊者に関しては「新しいおいた旅割」等の影響から前年同月比125.8%、前々年同月比119.3%、前々々年同月比113.7%といずれも増加している。
- ・国内の延べ宿泊者数の前月比は120.1%。秋の行楽シーズンに加え、全国的に感染者数も落ち着いていたこと等から2カ月連続で前月を上回った。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前年同月比は123.9%と増加しているものの、コロナ禍前の前々年、前々々同月比はいずれも1.4%、0.8%。諸外国では再度新型コロナウイルスの感染者が増加している地域もあり、依然とした入国制限の影響で低水準が続く。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比86.0%。前々年同月比は74.7%、前々々年同月比は75.3%、前月比119.7%。

令和3年11月の宿泊客等の動向
(令和2年11月～12月速報、令和3年1月～11月速報)



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、昨年7月からのGoToトラベルキャンペーン実施に伴い秋にかけて増加するも、その後感染者数の増加を受けて12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことにより減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、県民向け「新しいおいた旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、5月も更に拡大・延長し、6月まで宣言は延長。6月末に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じるものの、7月末からの感染者数の増加や緊急事態宣言地域の拡大などにより8月・9月の宿泊客減少傾向が続いた。9月末に全国で緊急事態宣言が解除となり、「新しいおいた旅割」も再開となったことから10月は増加に転じ、秋の行楽シーズンに加え感染者数も全国的に落ち着いていたことなどにより11月も増加となった。
- ・有料観光施設の動向については前年同月比101.0%。全国・県内共に感染者数が落ち着き、前月比増、前年同月と比べても微増となった。
- ・外国人宿泊客は、11月8日より一部入国制限が緩和されたものの、諸外国では再び新型コロナウイルスの感染者が増加している地域もあり、宿泊客数は依然として低水準が続く。
- ・全体においては、未だインパウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたが、国内宿泊者の動きは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や各種規制宣言等の有無、トラベルキャンペーン等の実施状況により変動しているとみられる。